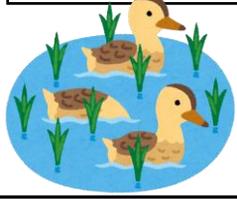


# まふとち通信

(まふ (MAFF)) は、農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です

## 本誌のご案内



- 最新号発行 「百花繚乱 ～栃木県内の農業関係高校を紹介します～」
- 令和6年産米等作付意向の公表 (令和6年1月末時点)
- パソコン・スマホから申請！ eMAFFをご利用ください
- 令和5年度関東農政局 多面的機能発揮促進事業局長表彰
- 「みどり戦略」に基づく農産物の温室効果ガス削減の「見える化」
- 統計情報 令和4年栃木県の農業産出額及び生産農業所得

最新号を発行しました。

「百花繚乱 ～栃木県内の農業関係高校を紹介します～」

栃木県内の農業関係高校の生徒が次世代の農業の担い手として、地域と連携した実践的な学習により、個々の進路実現に果敢にチャレンジしている農業関係高校等の活動を紹介しています。

関東農政局栃木県拠点では、栃木県立那須拓陽高等学校で部活として活動している「牛部」の生徒との意見交換をきっかけに、平成29年度から農業高校等と栃木県拠点との連携した取り組みを開始し、栃木県内の農業関係高校生等の活動を冊子「百花繚乱」に取りまとめています。

「百花繚乱」の意味には、「いろいろの花が咲きみだれる」「すぐれた人物や業績などが一時に多くでること」とされています。次世代の農業を担う生徒や学生達へこのような思いを含め、平成30年の創刊からタイトルに採用しています。

当冊子には、県内の県立高校で農業関連学科がある宇都宮白楊高校・鹿沼南高校・小山北桜高校・栃木農業高校・真岡北陵高校・那須拓陽高校・矢板高校の7校の学科別の取り組みに加え、普通科の選択科目に「農業と環境」がある馬頭高校の取り組みも紹介しています。その他に栃木県農業大学校や宇都宮大学農学部の情報も掲載しています。

この冊子は一般の方にも無料で配布しておりますので、ご希望の方は下記までお問い合わせ下さい。なお、配布部数に限りがありますので、配布を希望される方はお早めにご連絡下さい。

百花繚乱2024及び過去の百花繚乱は、下記のURL又は右記の二次元バーコードからご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/kanto/chiikinet/tochigi/tochigi\\_hyakaryouran.html](https://www.maff.go.jp/kanto/chiikinet/tochigi/tochigi_hyakaryouran.html)

【問い合わせ】 関東農政局栃木県拠点 地方参事官室 企画担当

TEL : 028-633-3311

Mail : tochigi\_sanjikansitu@maff.go.jp



# 令和6年産米等作付意向の公表（令和6年1月末時点）

令和6年産米の作付意向（令和6年1月末時点）は、令和5年産の作付実績との比較による作付けの傾向を示したものです。栃木県では、令和5年産の作付実績に対して、主食用米は減少傾向を見込んでおり、新市場開拓用米、飼料用米、WCS用稲、麦及び大豆などの品目で増加傾向、加工用米、米粉用米及び備蓄米で前年並みが見込まれています。

栃木県における需給状況が改善され、令和5年産の主食用銘柄の取引価格は4年産より高い傾向となっています。一方、栃木県は飼料用米作付けの約98%が一般品種による取組であることから、この機会に主食用米へ戻ることのないよう、多収性品種の導入を推進しているところです。

播種前の契約等を結ぶなど、安易に主食用米品種の作付けを増やすことがないよう、令和5年産米に引き続き、需要に応じた生産・販売に向けた作付転換が必要となります。

## ○ 主産県における令和6年産米等の作付意向について（第1回中間的取組状況（令和6年1月末時点））

都道府県	主食用米		戦略作物												備蓄米			
	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	加工用米		新市場開拓用米 (輸出用米等)		米粉用米		飼料用米		WCS用稲		麦		大豆		5年産実績	6年産意向 (対前年実績)
			5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)		
全国計	124,200		48,797	9,091	7,587	133,925	53,055	104,526	87,973	35,359								
北海道	82,200	↑	6,920	→	1,974	143	6,788	↓	1,594	↑	33,869	↓	17,865	↓	2,089	↓		
青森	33,800	↑	787	↓	321	12	7,930	↓	788	→	561	↓	4,801	→	5,661	↓		
岩手	42,800	→	1,283	↑	417	→	30	↓	5,739	↓	2,396	↓	3,491	↑	4,196	→	663	
宮城	57,200	→	626	↑	894	↑	103	↑	9,801	↓	2,757	↑	2,186	→	9,525	→	2,144	
秋田	69,900	→	8,264	→	500	↑	329	↑	4,265	↓	1,235	↑	182	↓	8,701	→	3,955	
山形	52,400	→	4,516	↓	440	↑	112	→	5,138	→	1,239	↑	73	↑	4,655	↓	3,484	
福島	53,100	→	448	↑	142	↑	12	↑	11,722	↓	1,079	↑	333	↑	907	↑	4,753	
茨城	57,800	→	947	↑	762	↑	55	↑	13,886	↓	653	↑	4,037	→	776	→	217	
栃木	47,200	↓	1,513	→	70	↑	1,418	→	15,069	↑	2,177	↑	7,442	↑	419	↑	1,149	
千葉	45,800	→	1,672	↑	35	→	135	→	10,154	↓	1,316	↓	440	↓	262	↓	122	
新潟	100,600	→	7,093	→	1,586	↑	1,784	→	4,032	→	533	↑	189	↑	3,996	→	4,559	
富山	31,200	→	1,220	↓	342	→	266	↑	2,096	↓	480	→	2,834	→	4,165	↓	2,202	

(注1) 主食用米、戦略作物及び備蓄米の「6年産意向(対前年実績)」は、5年産実績と比較し、「↑:増加傾向(1%超増加)」、「→:前年並み(増減1%以内)」、「↓:減少傾向(1%超減少)で分類。  
 (注2) 主食用米の「5年産実績」は、5年12月統計部公表の主食用作付面積。  
 (注3) 加工用米、新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米及びWCS用稲の「5年産実績」は、取組計画認定面積。麦・大豆の「5年産実績」は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。  
 (注4) 備蓄米の「5年産実績」は、地域農業再生協議会が把握した面積。

★都道府県別の作付意向の詳細は、以下のURL又は二次元バーコードからご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/attach/pdf/sakudou-19.pdf>



## パソコン・スマホから申請！ eMAFF をご利用ください

農林水産省では、当省の所管する法令に基づく申請や補助金・交付金の申請をオンラインで行うことができる農林水産省共通申請サービス（eMAFF）を構築しました。

### 【対象手続】

- 認定農業者制度 ■ 経営所得安定対策 ■ 収入保険 ■ 強い農業づくり総合支援交付金事業
- 環境保全型農業直接支払交付金 ■ 集落農業振興地域制度 等

現在申請可能な手続の一覧はこちら⇒<https://e.maff.go.jp/SearchFromAllTetsuzuki>



共通申請サービス（eMAFF）をご利用いただくには以下の手順が必要です。

ステップ01：認証システム「gBizID エントリー」の取得

ステップ02：「eMAFFプライム」の取得

ステップ03：eMAFFを利用してオンライン申請

詳しくは下記のURL又は二次元バーコードからご覧ください。

<https://e.maff.go.jp/GuestPortal?ec=302&startURL=%2f>



# 令和5年度関東農政局多面的機能発揮促進事業局長表彰 関東農政局長賞優秀賞 石橋南部環境保全会（下野市）

関東農政局では、管内で取り組まれている「多面的機能発揮促進事業」のうち、多面的機能支払いに係る取り組みを対象に優良な活動を表彰し、関係者の意欲の高揚を図るとともに、同事業による各種の取組を推進しています。

令和5年度表彰では、下野市の**石橋南部環境保全会**が、関東農政局長賞の優秀賞を受賞し、令和6年3月1日（金）に関東農政局において開催された表彰式典に参加されました。

石橋南部環境保全会は、下野市の北部に位置し一級河川姿川左岸沿いに展開する水田地帯で、土地改良事業を契機に、6自治会、子供会、土地改良区等の12団体で構成し、平成20年度に設立されました。農地、水路、道路などを保全する活動や、景観形成のための植栽等の活動を展開しており、農業者だけでなく非農業者を含めた地域住民の参加も多く、田んぼダムの取組みも行っています。なお、令和4年度には栃木県農業大賞農業経営の部で特別賞（下野新聞社長賞）を受賞しています。

石田 陽一 会長（写真右）

佐藤 司郎 事務局長（写真左）

当会の取組みは、構成員を中心に活動を行っていますが、地域女性会や地元企業等が新たに参加、協力いただき活動の広がりを見せています。

地域交流イベントへの参加を呼びかけることで、更なる参加者を募り、地域コミュニティ強化を図って行きます。地域農家の減少など課題はありますが、地域の皆さんの協力を得て、この地区の多面的機能発揮のための地域活動や営農継続に取り組んでまいります。



## 「みどり戦略」に基づく農産物の温室効果ガス削減の「見える化」に取り組まませんか？

農林水産省では、みどりの食料システム戦略に基づき、持続可能な食料システムを構築するため、食料システム全体での環境負荷低減の取組や国民理解の醸成に向けて、環境負荷低減の取組の「見える化」を推進しています。

温室効果ガス（GHG）の削減を分かりやすく情報発することで、消費者が地球環境に良い農産物を選択できる環境を整えていきます。

### 「見える化」とは？

- 生産者の栽培情報を用いて、生産時のGHG排出を試算  
※GHG（Greenhouse Gas）：温室効果ガスのこと
- その地域での慣行栽培と比較して、当該生産者の栽培がGHG排出を何割削減できているかを評価
- 削減率に応じて星の数で分かりやすく表示
- 対象品目：コメ、トマト、いちご、日本なしなど23品目

排出（農薬、肥料、燃料等）  
－ 吸収（堆肥・バイオ炭）

20%  
削減達成！



対象生産者の栽培方法

での排出量(品目別)

100% -  $\frac{\text{対象生産者の栽培方法での排出量(品目別)}}{\text{地域又は県の標準的栽培での排出量(品目別)}}$  = 削減率(%)

### 評価に基づく消費者への わかりやすい表示



- ★ : 削減率 5%以上
- ★★ : " 10%以上
- ★★★ : " 20%以上



詳しくは下記URLまたは二次元バーコードよりご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kanky/seisaku/being\\_sustainable/mieruka/mieruka.html](https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kanky/seisaku/being_sustainable/mieruka/mieruka.html)

## 1 農業産出額

令和4年の栃木県の農業産出額は2,718億円で、前年に比べ0.9%増加しました。これは、主に豚及び鶏の産出額は減少したものの、野菜及び花きの産出額が増加したためです。(図1)

農業算出額の部門別に構成割合をみると、野菜が27.6% (749億円)で最も高く、次いで乳用牛が17.3% (469億円)、米が16.9% (458億円)、豚が10.6% (287億円)の順となっています。(表1)

## 2 生産農業所得

生産農業所得は1,059億円で、前年に比べ 6.1%減少しました。(表1)

## 3 栃木県の農業算出額の上位10品目は表2のとおりです。

図1 栃木県の農業産出額及び生産農業所得の推移

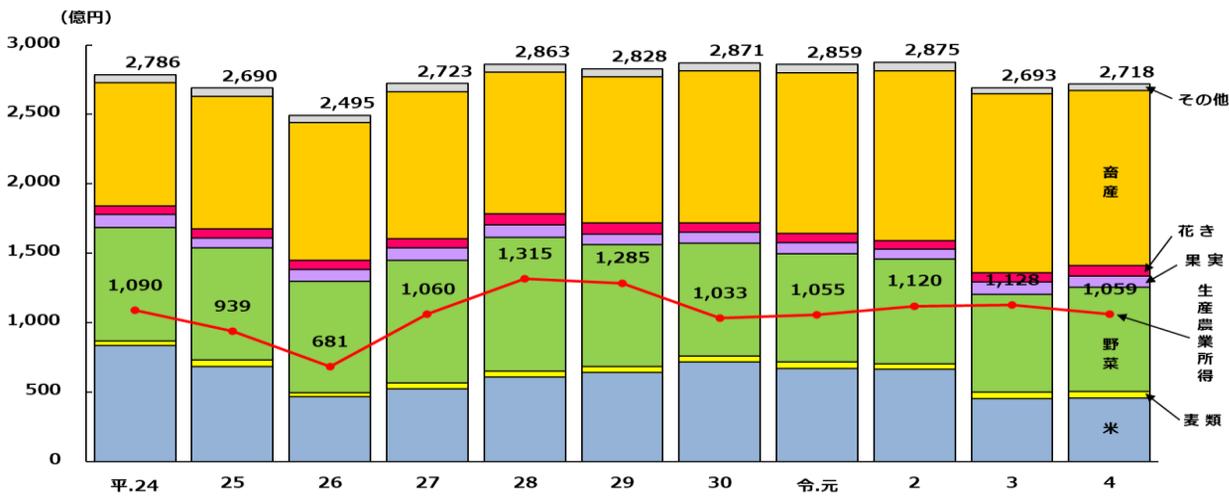


表1 栃木県の概要

区分	令和4年		対前年 増減率
	実額	構成割合	
農業産出額計	2,718	100.0	0.9
うち耕種	1,450	53.3	3.6
うち米	458	16.9	1.1
麦類	46	1.7	4.5
野菜	749	27.6	5.9
果実	82	3.0	△ 6.8
花き	77	2.8	13.2
うち畜産	1,262	46.4	△ 1.9
うち肉用牛	244	9.0	0.4
乳用牛	469	17.3	0.9
豚	287	10.6	△ 6.5
鶏	260	9.6	△ 3.3
生産農業所得	1,059	-	△ 6.1

表2 栃木県の農業産出額上位10品目

順位	品目	産出額	
		億円	%
1	米	458	16.9
2	生乳	418	15.4
3	豚	287	10.6
4	いちご	277	10.2
5	肉用牛	244	9.0
6	鶏卵	244	9.0
7	もやし	107	3.9
8	トマト	77	2.8
9	にら	51	1.9
10	日本なし	50	1.8

詳しくは下記のURL又は右記の二次元バーコードからご覧ください。

令和4年農業産出額及び生産農業所得 (都道府県別)

[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou\\_sansyutu/#y2](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/#y2)



お問合せ先：農林水産省関東農政局栃木県拠点（栃木支局）地方参事官室

〒320-0806 栃木県宇都宮市中央2-1-16

TEL: 028-633-3311 (代表) Mail: tochigi\_sanjikansitu@maff.go.jp

ホームページ: <http://www.maff.go.jp/kanto/chiikinet/tochigi/index.htm>

